

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年5月27日（月）
- 2 確認箇所
5、6号機滞留水貯留設備（Fタンクエリア内：N2タンク）（図1）
- 3 確認項目
増設雑固体焼却設備廃棄物貯留ピット水移送及びFタンクエリアへの貯留作業状況確認
- 4 確認結果の概要

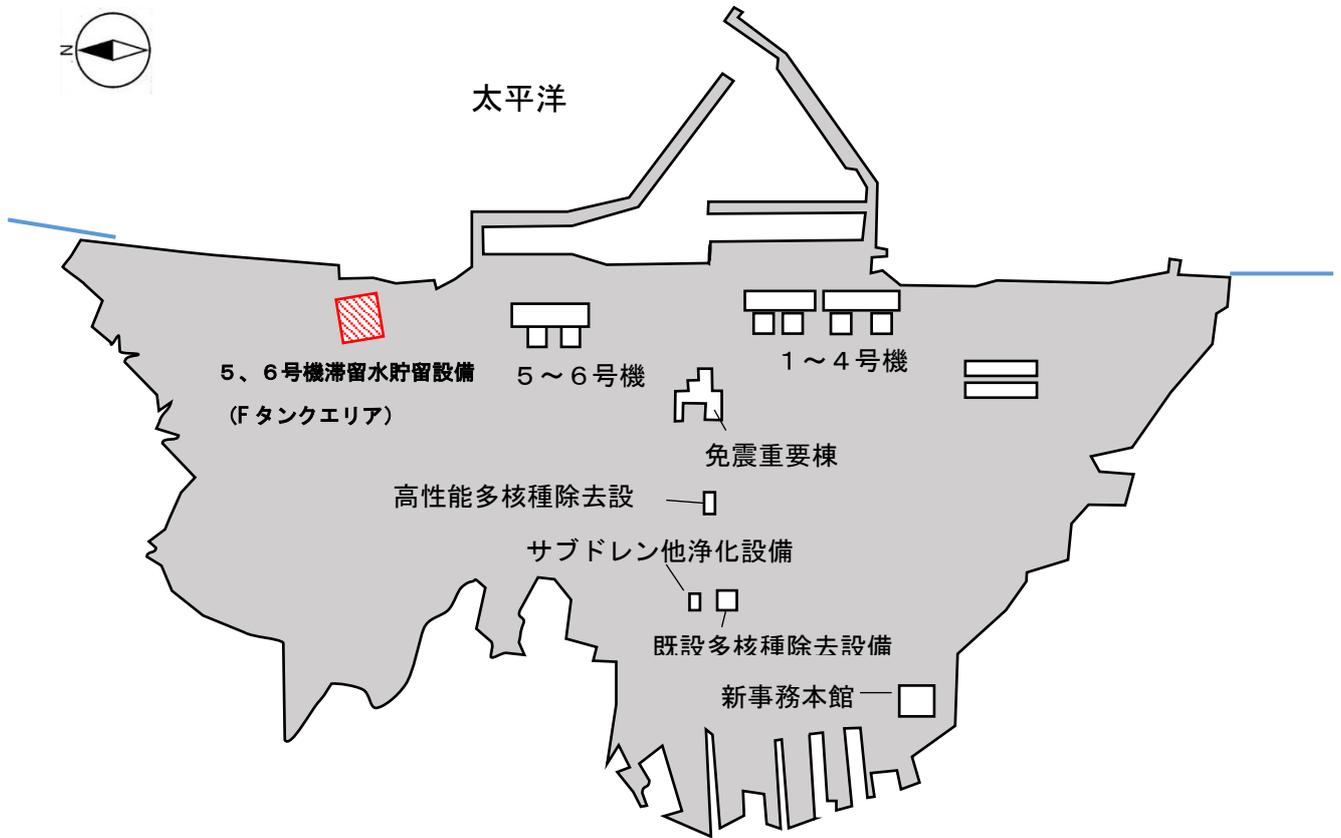
本年2月22日に増設雑固体廃棄物焼却炉建屋内の廃棄物貯留ピット内で火災報知器が作動したことに伴い、同ピット内へ注水（約1,200m³）を行ったが、その後、3月22日よりラフタクレーンを用いて水没した伐採木チップの回収、乾燥作業が開始されている。

これと平行して同ピット内に滞留した滞留水（以下、ピット水という。）を5、6号機滞留水貯留設備で浄化することを検討してきた。ピット水を受け入れるタンク（FタンクエリアのN2タンク）の準備（残水処理・タンク内部/外部点検・系統切離し）及び移送準備が整ったため、ピット水の移送を4月下旬から実施している。

今回は、この移送作業状況及びN2タンクへの貯留作業状況を確認するとともに5、6号機滞留水貯留設備全体を現場で確認した。排水輸送車（パワプロ車）からの移送作業（溢水防止対策としてホースを二重で被覆の上で実施）、N2タンクへの貯留作業、いずれも適正に行われていた。併せて5、6号機滞留水貯留設備及びタンクエリア内を現場で確認、5、6号機滞留水処理後の散水が計画通り実施されていたことを確認した。

（確認状況）

- ・ 増設雑固体廃棄物焼却炉建屋内の廃棄物貯留ピットから回収したピット水は、専用のパワプロ車で5、6号機滞留水貯留設備のあるFタンクエリアまで搬送、溢水防止対策を施した移送用ホースを接続し作業を行っていた。（写真1）
- ・ 移送用ホースは、2重の溢水防止措置を講じ、N2タンクへ移送を行っていた。（写真2）
- ・ ピット水を一時貯留するN2タンクは、移送前に残水処理、タンクの内部・外部点検、及び系統隔離を完了、適切に運用されていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

(写真1-1)
パワプロ車の外観



(写真1-2)
吐出口からのホース接続状況





(写真 2 - 1)
移送用ホースの接続状況
ホースからの溢水対策を講じた上で
N2 タンク堰内へ



(写真 2 - 2)
移送ホースの接続状況



(写真 2 - 3)
N2 タンクへの移送状況



(写真3-1)
N2タンク貯留口への立ち上り



(写真3-2)
N2タンクの系統構成と管理状況



(写真4)
5、6号機滞留水処理後の散水状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。